

コード	名 称	区分	コード	名 称
事業名	663-5 観光振興事業(広域観光協議会等への参画)	会計	01	一般会計
		款	07	商工費
		項	01	商工費
		目	03	観光費
基本 施策	44 資源とともなしの心を活かし、観光を振興する	細目	336	観光振興経費
		細々目	01	観光振興経費
行革大綱の重点事項番号				
担当部署	コード	191400		担当者 氏名
	名称	産業建設部商工労働観光課		
			連絡先	43 - 2309 (内線)

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	市外、市内及び県外の観光客	※対象件数
成果(どうする)	観光PR、情報提供などを共通のテーマや広範囲な視点で実施することができる、また独自ではPRが難しい有名メディアや遠方の地区へのPRを共同で効率的に行うことにより誘客が図れる。	
根拠法令・要綱等		
開始年度	平成	年度
終了年度	平成	年度
関連事業		
事業内容	H21 三重県観光連盟ほか、広域観光協議会に参画し、効率的な観光PR、情報提供を行った。 【主たるもの】 東京メディア交流会(三重県観光連盟) 近鉄とタイアップした観光キャンペーンの実施(東大和西三重観光連盟) 観光みえホームページへの掲載(三重県観光連盟) 雑誌への広告掲載およびテーマ性のある観光キャンペーンの実施(名張・伊賀・津観光振興協議会)	
社会情勢 の変化等	NINJAフェスタ等を都市圏などで効率的にPRすることができ、例年より遠方の誘客につながっている。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
			広域連携によるイベント等開催回数	回	目標 12 実績 12	目標 12 実績 15

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
				年間(暦年)の観光入込客数	人	過去3年間の観光入込客数実績平均を目標値に設定し、当該年度を評価	目標 3274050 実績 3393512

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計(A)	4,305	8,545	4,153	8,149				
Aの 財源 内訳								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	0	0	0	0				
一般財源	4,305	8,545	4,153	8,149				
事業投入人件費(B)	1.0人	7,200	1.0人	7,200	1.0人	7,200	1.0人	
フルコスト(A)+(B)	11,505	15,745	11,353	15,349				

事務事業の評価(Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対応し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
有効性	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
	観光振興を積極的に取組むことによって集客交流が促進され、それに伴い経済活動や地域の活性化が見込まれるため、伊賀市が観光都市として進むことへの市民ニーズが高い、広域的な観光協議会等に参画することにより1市単独では十分に取組むことのできない広域での情報発信や効率的な観光・地域資源のPR展開を推進することができる	○
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合は、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
	他地域や地域経済が疲弊している状況においては、観光産業は成長性の高い産業であり、また波及効果の視野が広い産業であるため従来にもまして重要な役割を担い、経済活性化への切り札になりうるものと考えられ、市民生活にプラスの影響を考慮することができる	○
	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い	○
	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
	当初設定した計画を 100% 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
効率性	予算の繰越の有無	
	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
効果性	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	
改善策	全体コストにおける負担構成は適正である。	○
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	
	昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況	

改善策	それぞれの団体の実施する集客イベント等に参加し、誘客活動を行うとともに、日常的な情報発信等(HP等による発信)も進めている。
【状況】	計画のとおり進んでいる
【詳細】	
昨年度の取組状況	各団体が主催する事業に積極的に参加し、伊賀市の観光PRを効果的に行うことができた。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	松本 浩典
【方向性】	現状維持
【理由】	
事業の方向性	広域的な観光協議会等に参画することにより1市単独では十分に取組むことのできない広域での情報発信や効率的な観光・地域資源のPR展開を推進するとともに、参画市町との相互交流を図り、さらに充実した観光振興につなげる。
現時点における課題、その他	さらなる広域的な観光PR活動の充実
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	今年度、平城遷都1300年祭に加盟団体に出席することにより、メディアの注目を集め、パブリシティ(無償での公共宣伝)による観光PRを行う。